

令和元年度事業報告

1 定時総会

令和元年5月14日(火)静岡市内のクーポール会館において定時総会を開催し、下記の議案を審議し可決した。会員総数59名中、出席者48名、外委任状11名

[議案]

(1) 平成30年度事業報告について

(2) 平成30年度収支計算書及び監査報告について

収支計算書、貸借対照表、財務諸表に対する注記、正味財産増減計算書
財産目録、監査報告書

(3) 令和元年度事業計画(案)について

(4) 令和元年度収支予算書(案)について

付帯決議(案)

2 理事会

理事会を10回開催して、協会の運営並びに事業活動等について審議した。

(4月17日、5月14日(役員非改選のため1回開催)、6月21日、8月6日、
9月17日、10月18日、11月26日、令和2年1月22日、2月18日、3月19日)

3 監査

平成31年4月17日(水)協会会議室において、鶴田忠男監事、鍋田昌吾監事が平成30年度の会計及び業務の監査を実施した。監査には、藤山義修会長、鈴木達美副会長(会計担当)が立ち会った。

監査結果は、「収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録」は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示していること、及び事業報告書の内容は適正であることが認められた。

この監査結果については、令和元年5月14日開催の定時総会で報告された。

4 入会及び退会者

入会者 なし

退会者(賛助会員)1社

(株)豊富(静岡市葵区安東3丁目19-11-2) 令和元年9月20日退会

(令和2年4月1日現在 正会員59社 賛助会員2社 計61社)

5 要望活動等

- (1) 令和元年6月7日(金) 正副会長・専務理事は、静岡県交通基盤部長や県企業局長、県教育委員会教育長、関係部局・各課に「静測協会員名簿(平成31年4月現在)」を配布し、挨拶を行った。
- (2) 令和元年6月17日(月) (一社)静岡県測量設計業協会(正副会長・専務理事、企画委員長、広報・経営改善委員長)、(一社)静岡県建設コンサルタンツ協会、(一社)静岡県地質調査業協会の3団体と国土交通省中部地方整備局県内事務所は、中島屋グランドホテルにおいて意見交換会を行った。
- (3) 令和元年9月4日(水) 正副会長・災害対策委員長・専務理事は、県庁において県交通基盤部理事・河川砂防局技監・土木防災課長と遠隔地の災害応援協定の具体的な話し合いを行った。
- (4) 令和元年11月13日(水) 正副会長・専務理事と企画委員会は、県産業経済会館において県交通基盤部関係者との意見交換会を開催した。
- (5) 令和2年1月8日(水) (一社)静岡県測量設計業協会(正副会長・専務理事)、(一社)静岡県建設コンサルタンツ協会、(一社)日本補償コンサルタンツ協会中部支部静岡県部会、(一社)静岡県地質調査業協会、の4団体が、静岡県知事・副知事へ年始の挨拶を行い、その後、協会として交通基盤部長や県企業局長、県教育委員会教育長、関係部局に機関誌「静測協 2020 新年号」を配布し、新年の挨拶を行った。
- (6) 令和2年2月14日(金) 全測連中部地区協議会(各県測協会長)は、名古屋において中部地方整備局企画部との要望会を開催した。
なお、会長代理として宮島副会長が出席した。
- (7) 令和2年3月4日(水) 正副会長は、県庁において県交通基盤部理事と災害時における課題等について打合せをした。
- (8) 令和2年3月24日(火) 正副会長は、県庁において県交通基盤部河川砂防局技監・土木防災課長と令和元年台風19号の災害時における課題等について打合せをした。

6 総務委員会

- (1) 清水港120周年記念事業
会長代理として(株)建設コンサルタントセンターは、5月24日幹事会、7月13日開港祭、7月18日記念式典、8月4日120周年式典、12月4日幹事会、3月13日幹事会(中止・書面議決)、3月26日総会に出席した。
- (2) 浜松市沿岸部は地域特有の砂丘景観があり、観光資源でもある「砂地」と貴重種の生息環境を維持するため、社会貢献の一環として中田島砂丘除草作業を令

和元年9月30日に行った。

7 広報・経営改善委員会

(1) 「測量の日」中部地区連絡協議会

「測量の日」中部地区連絡協議会は、日本測量協会中部支部長、全測連・中部地区協議会長、国土地理院中部地方測量部長、国土交通省中部地方整備局企画部技術調整管理官、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、名古屋市の行政機関、岐阜県測協、静岡県測協、愛知県測協、三重県測協、東海工業専門学校金山校の14機関で構成されている。

当協会からは、副委員長として会長、実行委員として広報・経営改善会委員長及び事務局長が参加している。

令和元年12月11日(水) 実行委員会(愛知県測協会議室)開催

小澤広報・経営改善委員会委員長と望月専務理事が出席

令和2年3月10日(火) 委員会は新型コロナウイルス対応で中止し、書面による議決とした。

(2) 「測量の日」中部地区連絡協議会記念行事「測量の日」記念講演会開催

4県測協の持ち回りと国土地理院中部地方測量部の隔年開催で実施しており、今年度は国土地理院中部地方測量部により開催され、藤山会長ら理事が参加し、望月専務理事は受付を協力した。

日時 令和元年6月4日(火) 13時30分～16時20分

会場 名古屋市内 ウィンクあいち大会議室にて講演会及びパネル展示を開催(12時～16時50分)

参加者 112名

講演1 「近代測量150年を迎えて」

国土地理院 参事官 鎌田高造

講演2 「多発する「異常な気象」の原因と気象変化」

三重大学 教授 立花義裕

(3) 「地図教室」(小学校4年生以上を対象)

国土地理院中部地方測量部の担当官がプロジェクターを使って講演を行い、地図の読み方や測量の役割を説明した。(講話)

次に、協会役員と会員の測量士らと共に、児童は10メートル歩いた歩数から自分の歩幅を割り出した後、ひみつの道で自分が歩いた歩数と歩幅から距離を計算する問題に取り組んだ。その後、測量機器を使った計測を行い、正確な距離との比較を学んだ。(測量体験学習)

静測協では、次の小学校において、広報・経営改善委員会及び地元協会員が

中心となり「地図教室」を開催した。

「地図教室」開催校（3校）

学校名	所在地	児童数	開催月日
浜松市立三ヶ日西小学校	浜松市北区三ヶ日町三ヶ日 301 番地 - 1	4 年生 61 名	6 月 14 日
島田市立川根小学校	島田市川根町家山 400 番地の 1	3・4 年生 54 名	6 月 25 日
松崎町立松崎小学校	賀茂郡松崎町宮内 322 番地	4 年生 38 名	6 月 28 日

各学校の協力会員

不二総合コンサルタント(株) (株)フジヤマ 田内測量設計(株) 竹内測量設計(株)
大鐘測量設計(株) (株)グリーン (株)FBJ コンサルタント (株)松井測量設計事務所
(株)ウインディーネットワーク (有)渡辺測量事務所 RB コンサルタント(株) (株)鈴木設計(株)

(4) 6月3日の「測量の日」は、測量の意義と重要性について国民に理解と関心を一層高めることを目的に、平成元年に制定されたもので、31回目を迎えた。令和元年6月3日(月)の建通新聞に「6月3日は『測量の日』」の広告を掲載し、「測量の日」を機会に、国民に新しい時代の測量・地図の意義と重要性について、一層の理解を訴えた。

(5) 令和元年度社長研修会の開催

月 日 令和元年10月17日(木)～18日(金)

場 所 ホテルアンピア松風閣 (焼津市浜当目海岸通り星が丘)

講 演 「宇宙技術や地理空間情報技術を活用した国内外の様々な取り組みの事例」

講 師 (株)マキノハラボ代表取締役、東京大学空間情報科学研究センター特任准教授、宇宙利用新領域開拓機構 代表理事 福代孝良

参加者 37名

(6) 発注機関等への啓発活動

ア 令和元年度会員名簿1,700部を発行し、6月に会長・副会長や部・中部・西部の各支部の会員により、県内発注機関(国土交通省及び農林水産省等の出先事務所、県庁及び出先事務所、市町等)に会員への指名方要望に併せて配布した。

イ 機関誌「静測協2020新年号」を1,070冊発行し、令和元年1月に会員の協力により県内発注機関及び各都道府県測量設計業協会・地図教室開催校等に配布し、協会活動の紹介を通じて、業界及び協会の啓発・周知を図った。

ウ 建通新聞に協会名と全会員の社名入り年賀広告を掲載(平成31年1月1日)して、協会及び会員・賛助会員のPRをした。

エ 全測連の機関誌「全測連2020」(200部)を2月に会員及び県内発注機関に配布した。

(7) 「働き方改革」に関する研修会

日 時 令和2年2月6日(木) 13:10～15:10

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 2階 大会議室

東日本建設業保証(株)静岡支店の協力を得て、(株)建設経営サービス提携講師：(株)シエーナ代表取締役・社会保険労務士 吉川直子氏は「建設関連業における働き方改革と今後の時間外労働対策について」を講義した。

(8) 県民無料測量設計相談所

協会内に常設相談所を置き、主に電話による相談に応じたが本年度の相談件数は13件であった。

(9) ホームページの管理

協会のホームページを通して、広報を行った。最新の情報を掲載するように努めている。

8 企画委員会

(1) 静岡県交通基盤部関係者との意見交換会の実施

日 時 令和元年11月13日(水) 9:30～11:30

場 所 静岡県産業経済会館 3階 特別会議室

出席者 静岡県交通基盤部建設業課長、建設技術企画課長、工事検査課長、道路整備課長、公共用地課用地班長、土木防災課災害・防災班長、砂防課砂防班長ほか関係職員(計12名)

(一社)静岡県測量設計業協会 藤山会長、鈴木副会長、山村副会長、宮島副会長、近藤理事(企画委員会委員長)、小澤委員、服部委員、木俣委員、望月事務局長(計9名)

令和2年2月27日、この議事録を会員にメールで配信した。

(2) 中部地方整備局との意見交換会のテーマ(意見・要望)を6月に取りまとめ全測連・中部地区協議会へ提出した。

(3) 静岡県立科学技術高等学校インターンシップの生徒3名の受入れ

中部支部の(株)建設コンサルタントセンター・(株)スルガコンサル・昭和設計(株)が各1名を令和元年7月30日～8月1日の3日間受け入れた。

参加した生徒の感想文は、機関誌「静測協2020新年号」P27～29に掲載した。

(4) 令和元年度 改正品確法及び業務ガイドラインの改定に関する説明会

静岡県建設関連団体4協会共催により、国土交通省中部地方整備局から講師として企画部建設専門官2名を派遣していただき開催した。参加者85名

日 時 令和元年8月7日(水) 10:00～11:50

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 2階 大会議室

(5) 「オンライン電子納品の試行について」の説明会

日時 令和2年2月6日(木) 15:15~15:45

会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 2階 大会議室

講師 県交通基盤部建設技術企画課 建設ICT推進班 芹澤主査

研修内容 会員から要望のあった「オンライン電子納品の試行について」

参加者 40社71名、欠席会員には後日資料を送付した。

9 技術委員会

(1) 技術講習会

日時 令和元年10月2日(水) 9:30~16:00

場所 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階 大会議室

ア テーマ及び講師

静岡県職員による講師の研修会

(ア) 「砂防設計について」

河川砂防局 砂防課 主査 土屋 勇太

(イ) 「静岡県の景観施設と高質な公共空間の形成に向けて」

都市局 景観まちづくり課 課長代理 栗原 文範

イ 「実務者のためのUAV利活用セミナー」ビデオ研修会

公益社団法人日本測量協会中部支部の協力を得て、静測協が主催した。

(ア) 「i-ConstructionでのUAV活用事例」

日本測量協会 認定講師 アジア航測(株) 渡辺 智晴

(イ) 「UAVとその周辺技術の最新動向」

日本測量協会 認定講師 国際航業(株) 村木 広和

(ウ) 「豪雨による斜面災害の緊急対応事例」

日本測量協会 認定講師 (株)テイコク 市橋 利裕

参加者 107名

(2) 地理空間情報産学官中部地区連携協議会に参画

地理空間情報産学官中部地区連携協議会の構成は、産業界から(公社)日本測量協会中部支部、(一社)全測連中部地区協議会及び4県の(一社)測量設計業協会、学界から名古屋大学、岐阜大学及び中部大学、官から国土交通省中部地方整備局企画部、国土地理院中部地方測量部、愛知県他3県4市等、事務局は国土地理院中部地方測量部である。

産学官が連携して取り組むべき課題、これに関連する学術、産業、技術・研究開発の動向等に関する意見交換及び情報提供等を行うため開催した。

令和2年2月12日(水)名古屋のウィルあいちで開催され、亀谷技術委員長

が出席した。会議資料は会員に提供した。

(3) 静岡県CALS/EC推進協議会に参画

静岡県CALS/EC推進協議会会長は静岡県交通基盤部長、副会長は(一社)静岡県建設業協会会長である。当協会は委員として会長、専門部会委員として技術委員長、作業部会委員として技術委員の3名が参画している。また、i-Constructionに取り組むため専門部会を母体に設置された情報化施工推進WGと平成28年12月22日に設立された「ふじのくにICT活用工事支援協議会」には、当協会から技術委員長、技術委員が参加している。

なお、「ふじのくにICT活用工事支援協議会」は、平成29年7月19日に「ふじのくにi-Construction推進支援協議会」に改称され、現在、当協会からは亀谷技術委員長、深民技術委員、倉田特別委員の3名が参画している。

令和元年8月29日(木) 令和元年度ICT活用業務の方針

ICT活用による工事の課題、測量業務・現場管理の効率化

令和2年3月13日(金) ICT活用工事の最新動向

ICT活用による現場管理・業務の効率化

スマートガーデンカントリーモデル事業

なお、3月13日は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策としてウェブ会議に変更され、会議資料は会員に提供した。

(4) 静岡市CALS/EC推進協議会に参画

静岡市CALS/EC推進協議会会長は静岡市建設局土木部長、副会長は静岡市建設局道路部長、(一社)静岡建設業協会会長、(一社)清水建設業協会会長である。当協会は委員として会長、専門部会委員として企画委員が参画している。

なお、平成24年3月5日(月)開催以降開かれていないが、市としては存続しているとのこと。

(5) 第71回日本学校農業クラブ全国大会 令和2年度 静岡大会 平板測量競技会における審査員の協力(令和元年7月~令和2年10月の本大会終了まで)

静岡県立静岡農業高等学校校長(静岡大会事務局長)及び県経済産業部農地局の要請により協会内に13名の協力体制を作り、支援をしていくこととした。

(株)フジヤマ (株)スルガコンサル 昭和設計(株) 鈴木設計(株) 東静測量設計(株)

伸東測量設計(株) (株)ツルタコンサルタント (株)グリーン (株)技研測量

不二総合コンサルタント(株)の10社13名

- ・ 7月25日(木) プレ大会(静岡県立天竜高等学校) 10名参加
- ・ 9月11日(水) 第1回審査打合せ会議(静岡農業高校) 11名参加
- ・ 10月3日(木) 静測協審査員会議(協会会議室) 9名参加
- ・ 11月28日(木) 第1回競技審査検討会(静岡農業高校) 3名参加
- ・ 1月16日(木) 第2回競技審査検討会(静岡農業高校) 2名参加

(6) 県景観まちづくり課主催の行政機関向け静岡県景観セミナー「これならわかる居心地が良い歩きたくなる公共空間のデザイン」令和2年2月7日 2名参加

(7) (一社)佐賀県県土まちづくりコンサルタント協会から佐賀県土木利用研究会

が作成した「水路用ボックスカルバートの木杭一設計（令和元年度改訂版）～令和2年1月」が送られてきたので、会員に紹介し4社に貸出しを行った。

10 調査委員会

(1) 「土木積算S・E」事業

ア「土木積算S・E」資格更新講習会

日時 令和元年7月3日(水) 13:30～17:00

場所 静岡労政会館 6階ホール

講習内容

(ア) 土木工事標準積算基準について

(イ) 土木設計積算システムについて

講師 静岡県交通基盤部 建設技術企画課職員2名

(ウ) 「官庁積算手法の現況」

講師 (一財)経済調査会 積算企画室長 杉目 雅範

講習修了者 171名

イ「土木積算S・E選定」前期講習会

日時 令和元年8月29日(木) 10:00～15:10

場所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 5階第3会議室

講習内容

(ア) 土木工事の積算について

(イ) 土木積算システム及び設計書作成方法について

講師 静岡県交通基盤部 建設技術企画課職員2名

講習申込者 40名、前期講習修了者 38名

ウ「土木積算S・E選定」後期講習会・修了試験

日時 令和元年10月29日(火) 10:00～15:30

場所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 4階第1研修室

講習内容

(ア) 土木工事の積算について

(イ) 土木積算システム及び設計書作成方法について

(ウ) 筆記試験

講師 静岡県交通基盤部 建設技術企画課職員2名

全講習修了者 38名・受験者 38名・合格者 36名

(2) 静岡県の建設事務総合システムの利用許諾を前提に、協会は市町と「土木積算S・E選定要領に関する覚書」を締結している。

今年度は伊豆の国市が覚書を締結し、締結済みは御前崎市、袋井市、浜松市、掛川市、森町、菊川市、富士宮市、藤枝市、焼津市、松崎町、島田市、伊豆の国

市の12市町となる。

これにより、静岡県土木設計積算システム(SMILES-ASP)を利用して、電算帳票作成業務を「土木積算S・E資格者」が在職する測量設計業者に委託することができる。

なお、静岡市が静岡県との「静岡県土木事務総合電算システムの利用に関する覚書」を解除したことに伴い、協会は静岡市長と締結済みであった「土木積算S・E選定要領に関する覚書」を平成25年3月1日に解除した。

11 災害対策委員会

(1) 災害復旧事業技術研修会の開催

災害復旧の測量・設計業務を直接担当する技術者を対象に、(一社)静岡県建設コンサルタント協会と共催した。

日時 令和元年6月27日(木) 13:20～16:50

場所 静岡県産業経済会館 3階 大会議室

講師 静岡県交通基盤部土木防災課・河川企画課及び道路保全課職員

参加者 89名

(2) 静岡県及び県内市町等との「災害時における測量設計等業務委託に関する協定」について

災害協定の目的は、災害応急復旧工事に必要な測量設計等業務を迅速に実施することにより、公共土木施設等の機能の確保又は回復を図ることである。静岡県交通基盤部、経済産業部7農林事務所(治山、森林、農地)、静岡県道路公社、静岡県教育委員会、静岡県企業局及び浜松市、静岡市、川根本町、藤枝市、島田市、焼津市、吉田町、三島市、伊豆の国市、小山町、掛川市、菊川市、牧之原市、河津町、富士市、清水町、森町、沼津市、磐田市、西伊豆町、袋井市、湖西市、富士宮市、南伊豆町、東伊豆町、松崎町、長泉町、下田市、函南町と「災害時における測量設計等業務委託に関する協定書」(以下「災害協定書」という。)を締結している。

今年度は、令和2年3月に函南町と締結したので、災害協定締結市町は県下35市町のうち29市町となった。

また、伊豆市・伊東市・裾野市と締結に向けた話を進めている。

[これまでの経過]

- ① 平成17年3月30・31日 静岡県建設部の13事務所長と災害協定書を締結した。
- ② 平成17年11月22日 焼津漁港管理事務所長と災害協定書を締結した。
- ③ 平成18年12月20日 浜松市長と災害協定書を締結した。
- ④ 平成19年3月13日 静岡市長と災害協定書を締結した。

- ⑤ 平成21年 5月25日 静岡空港管理事務所長と災害協定書を締結した。
- ⑥ 平成21年 7月 1日 静岡県建設部の13事務所長（土木関係）と
～16日 災害協定書及び実施細目の変更協定書を締結した。
主な変更箇所は、様式第2号（技術者総括表）である。
- ⑦ 平成21年 8月19日 静岡県経済産業部の出先7農林事務所（治山・森林関係）
～31日 と災害協定書を締結した。
- ⑧ 平成21年11月 1日 川根本町長と災害協定書を締結した。
- ⑨ 平成21年11月30日 藤枝市長と災害協定書を締結した。
- ⑩ 平成21年12月25日 島田市長と災害協定書を締結した。
- ⑪ 平成22年 1月 8日 焼津市長と災害協定書を締結した。
- ⑫ 平成22年 2月 8日 吉田町長と災害協定書を締結した。
- ⑬ 平成23年 4月 1日 三島市長と災害協定書を締結した。
- ⑭ 平成23年 6月 1日 伊豆の国市長と災害協定書を締結した。
- ⑮ 平成23年11月25日 小山町長と災害協定書を締結した。
- ⑯ 平成24年 1月13日 掛川市長と災害協定書を締結した。
- ⑰ 平成24年 1月19日 菊川市長と災害協定書を締結した。
- ⑱ 平成24年 7月18日 静岡県交通基盤部長と災害協定書を締結した。
この締結にともない、①②⑤との協定を廃止した。
- ⑲ 平成24年 9月25日 牧之原市長と災害協定書を締結した。
- ⑳ 平成24年11月 5日 河津町長と災害協定書を締結した。
- ㉑ 平成25年12月12日 富士市長と災害協定書を締結した。
- ㉒ 平成25年12月20日 清水町長と災害協定書を締結した。
- ㉓ 平成26年 3月 4日 森町長と災害協定書を締結した。
- ㉔ 平成26年 3月24日 沼津市長と災害協定書を締結した。
- ㉕ 平成26年 7月24日 磐田市長と災害協定書を締結した。
- ㉖ 平成26年 8月 4日 西伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉗ 平成26年 8月22日 静岡県道路公社と災害協定書を締結した。
- ㉘ 平成26年 9月30日 袋井市長と災害協定書を締結した。
- ㉙ 平成27年 1月19日 湖西市長と災害協定書を締結した。
- ㉚ 平成27年 7月16日 富士宮市長と災害協定書を締結した。
- ㉛ 平成28年 8月24日 南伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉜ 平成30年 3月28日 静岡県経済産業部の7農林事務所長（山地災害・治山
施設等の災害・農地農業用施設災害）と災害協定書を締
結した。この締結に伴い、⑦との協定を廃止した。
- ㉝ 平成30年 3月29日 静岡県教育委員会教育長と災害協定書を締結した。

- ㉞ 平成30年 6月22日 東伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉟ 平成30年12月19日 松崎町長と災害協定書を締結した。
- ㊱ 平成31年 1月16日 長泉町長と災害協定書を締結した。
- ㊲ 平成31年 3月 8日 下田市長と災害協定書を締結した。
- ㊳ 令和元年11月15日 静岡県企業局と災害協定書を締結した。
- ㊴ 令和 2年 3月 5日 函南町長と災害協定書を締結した。

なお、協定書締結に伴い締結先に毎年「協力者名簿」を提出している。
また、協定書は当協会のホームページに掲載されている。

(3) 遠隔地の他県測協との「広域災害時相互応援に関する協定」について

東日本大震災の教訓から、南海トラフ大地震等広域災害発生時に不足する測量設計技術者を確保するため、同時被災のリスクが少ない静岡県と熊本県の測協間の災害協定を締結するように、静岡県と熊本県のご指導を受け、平成26年7月31日に両県立会いの下、(一社)熊本県測量設計コンサルタント協会と「災害時相互応援協定」を締結した。

同様な主旨から、平成28年8月3日には、静岡県と鹿児島県立会いの下、静岡県庁にて(公社)鹿児島県測量設計業協会と「災害時相互応援協定」を締結した。

令和元年10月7・8日(水・木)、「静岡県・熊本県・鹿児島県の3県測協による広域災害時相互応援に関する意見交換会」を当協会会議室で開催した。

- | | | |
|----------------------|---------------------|-----|
| (一社)熊本県測量設計コンサルタント協会 | 会長等 | 5名 |
| (公社)鹿児島県測量設計業協会 | 会長等 | 3名 |
| (一社)静岡県測量設計業協会 | 相談役・会長・理事 | 10名 |
| オブザーバー | 静岡県交通基盤部土木防災課長・災害班長 | 2名 |
- 20名の参加により有意義な意見交換が行われた。

(4) 災害時応援協定締結事業者研修会等

- ア 富士宮市災害時応援協定・ライフライン防災連絡会の参加
日 時 令和元年7月17日(水)10:00～11:00
会 場 富士宮市役所庁舎7階 大会議室
参加者 松井災害対策委員長
- イ 富士宮市情報伝達訓練
日 時 令和元年7月24日(水)
協力者 東海技術開発(株)
- ウ 静岡県交通基盤部13出先機関との出動要請・応諾訓練
日 時 令和元年8月13日～9月6日の間

協力者 会員 55 社

エ 静岡県・三島市・函南町総合防災訓練

日 時 令和元年 9 月 1 日 (日)

場 所 南二日町広場 (三島市南二日町 24-5)

オ 掛川市災害時応援協定締結事業者連絡会の参加

日 時 令和 2 年 2 月 25 日 (火) 10:00~12:00

会 場 掛川市役所 4 階 会議室

参加者 杉本災害対策委員

カ 県危機管理部による災害時応援協定締結事業者との研修・情報交換会が開催され、当協会員が出席した。

日 令和 2 年 2 月 7 日 (金) 14:00~16:30

会 場 静岡県総合社会福祉会館 シズウェル 703 会議室

参加者 松井災害対策委員長、望月専務理事 他会員多数

(5) BCP (事業継続計画)

ア 貴重なデータの管理方法の検討

アンケート調査を 10 月に実施し、これに基づき会員に報告できるものを検討している。

イ BCP の参考になるものを紹介 (メール配信)

(ア) 静岡県中部地域局の災害対応・BCP 事例集の 8 事例を紹介

(イ) 中部地方整備局の「建設会社における BCP 認定制度について」を紹介

(ウ) 県危機管理部「南海トラフ地震 - その時の備え」と

南海トラフ地震臨時情報時の防災対応 (県版ガイドライン) を配布

(6) (一社) 熊本県測量設計コンサルタント協会作成の「熊本地震に関する報告書」は令和 2 年 3 月 10 日に送られて来たので、PDF にして会員に配布した。

(7) 静岡県建設副産物対策連絡協議会への参画

静岡県建設副産物対策連絡協議会長は静岡県交通基盤部長、副会長は交通基盤部理事である。当協会は、委員会に会長、幹事会に災害対策委員長、実務担当者として事務局長が参画している。

(8) 県沼津土木事務所との大規模災害時の初動対応に関する勉強会について

静岡県建設コンサルタント協会の「もくせい会」の提案を受け、令和元年 10 月 4 日から 3 者による勉強会を行い、大規模震災対応マニュアル案を取りまとめた。

1 2 倫理委員会

(1) 独占禁止法遵守研修会

当協会、(一社) 静岡県建設コンサルタント協会、(一社) 静岡県地質調査業協会の建設関連業 3 団体の共催により開催した。

日 時 令和 2 年 2 月 6 日 (木) 10:00~15:10

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 2 階 大会議室

講 師 (公財) 公正取引協会 客員研究員 相馬 哲夫

研修内容 午前の部としては、入札談合と独占禁止法について

午後の部としては、労働基準法遵守のために、「働き方改革」に関する研修会を行った。(再掲)

参加者 40 社 71 名、欠席会員には研修会資料を送付し、法令遵守を喚起した。

(2) 当協会のホームページ・会員名簿及び機関誌新年号に「倫理綱領」を掲載し、会員企業の社員に法令遵守を喚起している。この倫理綱領は、測量設計業に携わる者の基本的なルールであり行動指針であるので、会員企業の執務室に掲示するなど、周知徹底に努めている。

1 3 積算システム運営委員会

(1) 令和元年 11 月 26 日 (火)、静岡県交通基盤部建設技術企画課の担当者に出席いただき、協会会議室において第 1 回積算システム運営委員会を開催し、令和元年度「土木積算 S・E 選定」修了試験の結果について審議した。

その結果、受験者 38 名中、合格者は 36 名であった。

「土木積算 S・E」選定試験の受験者数は、制度創設当初を除けば平成 9 年度をピークに減少傾向である。平成 4 年度から令和元年度までの合格者は 1,725 名であるが、令和元年 11 月現在「土木積算 S・E」資格者として台帳に登録されている者は 594 名である。(内訳：会員 457 名、会員外 137 名)

(2) 静岡県は、令和 2 年 5 月 8~10 日に静岡県土木積算システム (SMILE-ASP) のマルチブラウザ対応 (現在 Internet Explorer のみ対応) として、これまでの IC カード、カードリーダーを使用したログイン認証式から、SMILE-ASP 利用者番号カードを利用した方式に変更するため、会員等に情報提供した。

1 4 他団体への講師派遣 (技術委員会担当)

静岡県建設技術監理センターの依頼により、静岡県土木技術職員研修 (測量概論・測量演習) に下記会員 5 社から講師を派遣した。

派遣年月日：令和元年 5 月 22 日 (水)、23 日 (木)

「採用 1 年目研修」のうち測量概論・測量演習 (実測・計算)

講師を派遣した会員：昭和設計㈱、㈱建設コンサルタントセンター
㈱スルガコンサル、服部エンジニア㈱、㈱ツルタコンサルタント

15 他団体等が主催する講習会等への参加

- (1) (一社) 静岡県建設コンサルタント協会主催の発表会
「第15回技術研究発表会(シビルセミナー)」
日時 令和元年7月5日(金)19:50~16:30
会場 静岡県グランシップ11階 会議ホール・風
- (2) 「第29回 奥野ダム一日ダム教室」
主催 静岡県熱海土木事務所 協力 東部支部
日時 令和元年7月31日(水)
会場 静岡県伊東市 奥野ダム敷地内
- (3) 「公共測量成果のまとめ方」
主催 (公社) 日本測量協会中部支部
日時 令和元年8月9日(金) 9:30~16:30
会場 静岡県産業経済会館 第1会議室
- (4) 「盛土を考える」
主催 (一社) 静岡県地質調査業協会
日時 令和元年11月1日(金) 10:00~16:30
会場 しずぎんホール ユーフォニア
- (5) しずおか建設まつり 参加 中部支部静岡地区
主催 静岡市(技術政策課)・(一社) 静岡県建設産業団体連合会
日時 令和元年11月9日(土)10:00~16:00
会場 清水マリパーク(ドリームプラザ海側デッキ)
- (6) 静岡県交通基盤部技術発表会(土木技術)
主催 静岡県交通基盤部(建設技術企画課)
日時 令和元年11月20日(水)10:00~16:30
会場 静岡県 あざれあ 6・7階 大ホール
- (7) 静岡県交通基盤部等優良業務委託表彰式
主催 静岡県土木事務所等、農林事務所(交通基盤部工事検査課)
日時 令和2年1月30日(木) 13:00~16:00
会場 しずぎんホール「ユーフォニア」
- (8) 第23回 農地技術研究発表会
主催 静岡県産業経済部農地局(農地整備課)
日時 令和2年1月31日(水)10:00~16:10

- 会場 静岡県庁西館4階第一会議室
- (9) 技術講習会
主催 静岡県西部農林事務所
日時 令和2年2月3日(月)13:15~15:30
会場 静岡県北遠総合庁舎4階 会議室
 - (10) “安全・安心で魅力ある地域づくり”の推進に向けて
—協働による地域づくり発表会—
主催 静岡県交通基盤部(県建設技術監理センター)
日時 令和2年2月6日(木)13:00~16:30
会場 静岡音楽館 AOI 7階講堂(静岡市葵区)
 - (11) 明日の静岡の道路ネットワークを考える—シンポジウム
主催 静岡新聞社・静岡放送
日時 令和2年2月21日(金) 13:30~16:00
場所 しずぎんホール「ユーフォニア」

16 支部活動

「東部支部」

平成31年

- 4月4日 支部監査・支部理事会 於 プラザヴェルデ
出席者 5名(支部長・副支部長2名・監事2名)
・平成30年度会計監査・平成31年度支部総会議案
- 4月19日 支部総会 出席者23社、委任状提出6社 於 伊豆長岡かめや恵庵
~22日 支部総会 出席者23社、委任状提出6社 於 伊豆長岡かめや恵庵
・平成30年度事業報告
・平成30年度収支決算報告書及び監査報告並びに承認の件
・平成31年度事業計画(案)承認の件
・平成31収支予算(案)承認の件

令和元年

- 第1回支部役員会 於 三島プラザホテル
- 5月30日 出席者10名(支部長・副支部長・監事・各委員会委員長)
・支部研修会について ・沼津土木事務所との意見交換会について
- 6月12日 ダム1日教室事前協議 於 奥野ダム管理所 出席者 支部長・副支部長
・展示内容について ・展示ブース・駐車場変更等について
- 6月28日 地図教室 於 松崎町立松崎小学校 東部支部出席者14名
(支部長・専務理事・広報経営改善委員会・協力会社)
出席児童数 38名
- 7月2日 第2回支部役員会 於 プラザヴェルデ

- 出席者 10名 (支部長・副支部長・監事・各委員会委員長)
・会員名簿配布について・令和元年度事業計画について
- 7月31日 奥野ダム1日ダム教室 於 奥野ダム
東部支部役員 9名 (支部長・副支部長・監事・支部各委員長)
(株)ウインディネットワーク 5名、協和コンサルタント(株)・(株)東日
各 2名 計 18名 9:30～13:30 測量体験・ドローン展示飛行
- 8月30日 沼津土木事務所長との面談 於 沼津土木事務所
出席者 支部長・全体協議会開催と講師依頼について
・意見交換会開催依頼
- 9月13日 支部全体協議会 出席者24社43名 於 三島プラザホテル
・東部支部全体協議会：支部会員対象の講演会
・東部4土木事務所・田子の浦港管理事務所所長講演会
- 9月20日 沼津土木事務所との意見交換会 於 東部総合庁舎会議室
出席者 沼津土木事務所 所長及び幹部職員 14名
東部支部 支部長及び各委員長9名
・協会からの要望・提案と沼津土木事務所からの回答
・沼津土木事務所からの協会に対する要望・その他
- 10月 4日 大規模災害時初動対応勉強会 於 沼津土木事務所会議室
出席者 沼津土木事務所 3名、もくせい会 3名、協会 3名
・もくせい会起案による勉強会で、支部はオブザーバーとして参加
- 10月13日 台風19号の災害復旧対応について 於 沼津土木事務所
出席者 沼津土木事務所 3名、東部支部 支部長
- 10月14日 災害対策委員会 出席者 役員・会員幹部 於 (株)東日会議室
・台風19号による災害復旧対応について
- 10月16日 伊豆市災害対策協議 出席者 関係者 於 (株)東日会議室
・台風19号による災害復旧対応について
- 10月18日 函南町災害対策協議 出席者 役員・会員幹部 於 (株)東日会議室
・台風19号による災害復旧対応について
- 10月30日 工期延長について協議 於 沼津土木事務所
出席者 沼津土木事務所 2名、東部支部 支部長・鈴木理事
・受注済み委託業務の工期延長及び様式の簡略化要望
- 10月31日 経営者・幹部社員研修会
～ 2日 出席者 小事及び支部会員12名・東北被災地復興状況視察
- 11月16日 「土木の日」イベント 於 沼津港
参加者 沼津土木事務所、企画委員長・支部役員や(株)東日職員

- 測量機器展示・測量体験
- 12月19日 大規模災害時初動対応勉強会 於 (株)東日会議室
出席者 もくせい会 3名、県建コン協 1名、静測協 3名
・初動対応マニュアル案協議
- 令和2年
- 2月10日 県沼津土木事務所災害対応感謝状贈呈式 於 東部総合庁舎
出席者 沼津土木所長他、静測協藤山会長東中西部会員他 25社
- 2月13日 大規模災害時初動対応勉強会 於 沼津土木事務所
出席者 沼津土木 次長他 3名、もくせい会 3名、静測協 3名
・初動対応マニュアル確認
- 3月2日 第3回東部支部役員会 於 プラサヴェルデ
・令和元年度東部支部事業報告・新年度支部役員改選協議
・令和2年度支部総会協議
- 「中部支部」
- 平成31年
- 4月16日 中部支部評議委員会 出席者10名 於 クーポール会館
・中部支部総会議案説明・中部支部事業分担(案)について
・理事会、委員会報告
- 令和元年
- 6月12日 中部支部評議委員会 出席者11名 於 クーポール会館
・平成31年度静岡県土木技術職員研修への講師派遣について
・静岡県立科学技術高等学校 インターンシップ受入れについて
・平成31年度社長研修会(中部担当)について
・青葉公園で開催される建設イベントについて
- 同日 中部支部総会・懇親会 出席者14名 於 クーポール会館
・平成30年度事業報告(中部支部各部会)
・平成30年度収支決算報告及び監査報告
・平成31年度事業計画(案)承認
・平成31年度事予算(案)承認
- 6月20日 参加者 2班 13名参加 中部支部管内「平成30年会員名簿」配布
- 6月25日 「地図教室」の開催 於 島田市立川根小学校 出席者10名
- 9月19日 中部支部評議会 出席者 9名 於 クーポール会館
・静岡県土木関係者との意見交換会について
- 10月21日 静岡県土木関係者との意見交換会 於 中島屋グランドホテル
出席者 26名(県10名、中部支部13名)
・協会から県への要望・質疑・県から協会への要望他

11月9日 しずおか建設まつり出展 於 清水マリパーク、出席者7社20名以上
測量体験ツアー、ドローン操縦体験他

12月20日 支部評議委員会 於 クーポール会館、出席者15名
・静測協、全測連等の活動報告・静測協理事会報告
・しずおか建設まつり出展報告

令和2年

2月1日 清水港開港120周年記念シンポジウム 於 清水文化会館マリナ
ート小ホール 出席者小田秀昭委員他

2月27日 支部評議委員会 於 クーポール会館、出席者10名
・静測協事業報告・静測協経営者研修会の件
・中部支部社長研修旅行の件

「西部支部」

平成31年

4月19日 第1回全員協議会 出席者12名 於 呉竹荘
・令和元年度通常総会について ・理事会報告
・令和元年度静測協西部支部総会開催について
・6月14日の「地図教室」開催について

同日 第37回通常総会 出席者12名 於 呉竹荘
・平成30年度事業報告及び収支決算について
・平成30年度研修会特別会計収支決算について
・令和元年度事業計画案及び収支計算について
・令和元年度研修会特別会計事業計画案及び収支予算案について
・小楠県議講演会
・来賓塩谷国議(代理)、小楠県議、倉田市議、内田市議

令和元年 令和元年度「測量の日」関連行事「地図教室」

6月14日 浜松市立三ヶ日西小学校 4年生61名

6月24日 第2回全員協議会 出席者12名 於 不二総合コンサルタント(株)会議室
・理事会報告・各委員会報告・中田島外来生物除去作業実施について
・地図教室の開催結果について
・西部地区県土木事務所・企業局幹部職員との意見交換会
・西部支部研修会及び夏季社長研修会について

6月28日 静測協西部支部研修旅行
～29日 ・岡山、倉敷、姫路方面 出席者12名

6月～7月 「未来を測る測量設計の世界」冊子を西部地区高等学校へ配布

8月9日 西部支部夏季研修会 出席者12名 於 ホテルクラウンパレス浜松

9月10日 静岡県西部地区土木事務所・企業局幹部職員との意見交換会
於 浜松総合庁舎 出席者 県土木事務所23名、企業局3名

県交通基盤部1名、支部会員12名

9月30日 中田島砂丘外来生物除去作業実施 於 浜松市中田島砂丘
浜松土木事務所職員と合同作業

12月6日 令和元年度「工事現場見学会」
工事現場：浜松市浜北区小松地先、周智郡森町三倉地内
講師：浜松、袋井土木工事課職員
工事現場を視察しながら県が要望する設計の意図や構想、受注者が考
える設計の計画、考案等の意見交換 14名参加

12月11日 令和元年度「建設ICT技術研修会」於 浜松総合庁舎
講師：県交通基盤部職員、西部支部協会員
・静岡県が目指す近未来3次元データ活用・協会員によるICT技術紹
介・道路設計者のためのBIM/CIMソリューション

12月13日 第3回全員協議会及び冬季研修会 12名 於 湖畔の料理宿あさしお
・理事会報告 ・各委員会報告 ・西部支部活動について

令和2年

1月14日 西部支部新年挨拶回り 西部支部活動について

1月31日 第4回全員協議会 於 不二総合コンサルタント(株)会議室
・理事会報告・各委員会報告・来年度の事業について

17 (一社) 全国測量設計業協会連合会事業

(1) 令和元年度 定時総会

令和元年5月23日(木) 東海大学校友会館(東京都内)において開催され
山村副会長が代理出席した。

(2) 全国会長会議

令和元年10月3日(木) 和歌山ダイワロイネットホテル(和歌山市)におい
て開催され、藤山会長が出席した。

(3) 全測連全国会長懇談会及び令和元年賀詞交歓会

令和2年1月9日(木) 東海大学校友会館(東京都内)において開催され
藤山会長が出席した。

(4) 経営委員会調査研究部会

藤山会長は、経営委員会調査研究部会に所属している。

令和元年7月11日(木) 調査研究部会(事業と合同)に出席した。

令和元年9月27日(金) 調査研究部会に出席した。

(5) 令和元年台風19号災害支援金50万円を受領し、災害義援金として県に寄付

18 (一社) 全測連中部地区協議会事業

(1) 役員会・会長会議

役員会議年2回、会長会議1回開催し、協議会の運営、事業活動及び当面の課題等について協議することとしている。

藤山会長が協議会副会長、鈴木・山村・宮島副会長が協議会幹事、望月事務局長が事務局に就いている。

令和元年7月17日 第1回役員会 アイリス愛知 正副会長3名、望月2月予定の第2回役員会は、意見交換会を要望会に変更し、開催しない。

令和2年3月10日の会長会議は中止した。

(2) 中部地方整備局との要望会(再掲)

中部地方整備局に対する会員の意見・要望を6月に取り纏め、中部地方整備局との要望会を開催し、宮島副会長が代理出席した。

中部地方整備局との要望会 令和2年2月14日(金) 三の丸庁舎

(3) 中部地方整備局長との災害協定

平成21年4月中部地区協議会会長は、中部地方整備局長と「災害又は事故における中部地方整備局所管施設等の緊急的な応援対策の支援に関する協定書」を締結したが、テックフォースとの連携、リエゾン(情報連絡員)による情報共有、協定対象エリアの拡大等を目的として、平成25年3月1日に協定書が改定されている。この協定書に基づく「令和元年度災害等援助協力体制表」を中部地方整備局に提出した。

協定書は、当協会のホームページに掲載されています。

(4) 愛知県、岐阜県及び静岡県測量設計業協会長との災害協定

平成23年3月23日 中部地区協議会の3県の測量設計業協会長と「災害時における中部地区県測協の応援協力に関する協定」を締結している。

協定書は、当協会のホームページに掲載されています。

(5) 「日本測量協会中部支部創立40周年記念行事」公益社団法人日本測量協会中部支部)の後援

日時 令和元年7月17日(水)

場所 アイリス愛知(名古屋市中区丸の内)

記念講演会 演題「パリ協定とパリ協定後の世界の変化」

講演者 東京大学未来ビジョン研究センター教授 高村ゆかり

講演後に意見交換会が開催された。

(6) 中部ブロック災害復旧事業講習会((一社)中部地域づくり協会他と共催)

日時 令和元年11月12日(火) 10:00~16:10

場所 じゅうろくプラザ 5階 大会議室(岐阜市橋本町)

講師 (公社)全国防災協会 災害復旧技術専門家、中部地方整備局

対象者 建設コンサルタント・測量設計会社・行政機関(国、県、市町及び行政機関に準ずる機関・団体含む)等の実務担当者及びその予定者

(7) 中部地区用地対策連絡協議会 用地職員研修(測量)への会員14名講師派遣
日時 令和元年10月31日(木)~11月1日(金)

(8) グループ保険の取扱い

会員の従業員の福利厚生のため、新規参加の案内とグループ保険の取扱いを継続した。

19 (一社) 静岡県建設産業団体連合会事業

(1) 定時総会

令和元年5月28日(火) ホテルシティオ静岡5階で開催され、望月専務理事が代理出席した。

(2) 建設産業構造改善推進のつどい

令和元年9月13日(金) 静岡市産学交流センター「ペガサート」において開催され、松井理事・望月専務理事が出席した。

(3) 「第37回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会 富士宮 安心安全まちづくりの集い」令和元年11月26日(火) 富士宮市民会館において開催された。

(4) 静岡市主催のしずおか建設まつり(11月9日) 出展経費の補助を受けた。

(5) 「建設産業セミナー2019」令和元年11月26日(火) 静岡市産学交流センター(ペガサート)で開催された。

20 慶弔費

8件のうち1件は依頼により弔電のみとしたが、死亡弔慰金6件と災害見舞金1件は内規により対応した。

(内規は、協会のホームページに掲載されています。)

21 令和元年台風19号静岡県災害義援金

(一社)全国測量設計業協会連合会会長から中部地区協会会長経由で令和元年台風19号災害支援金として50万円を受領した。

理事会は県交通基盤部と相談し、静岡県内の被災者のために日本赤十字社静岡県支部義援金口支部長川勝平太あて、令和元年台風19号災害義援金として令和2年2月14日に振込む。

3月24日(火) 正副会長は県庁に出向き、県交通基盤部長に目録を贈呈した。